

バイオセラピー学 特別研究総合演習（二）（2単位）

担当者氏名 小川博・佐々木剛・松林尚志・増田宏司・土田あさみ・宮本太・御影雅幸・三井裕樹・小池安比古・松嶋賢一・太田光明・川嶋舟・内山秀彦・浅野房世・藤岡真実

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

授業担当教員の指導の下で本総合演習（一）を基礎とし、専攻指導教授および授業担当者との前年度の研究成果の確認および得られた成果の評価と問題点の抽出を行う。これらの結果を受けて学会での口頭・ポスター発表を実施するための討論を重ね、実施する。またこれまでの研究成果（学部卒業論文・修士論文）の学会誌への投稿を行うための討議を重ねることにより、研究者としての資質を磨き、博士論文作成のための基礎作りおよびバイオセラピー学専攻の理念と哲学を構築することを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 プレゼンテーション 論文作成

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義の進め方	本講義の意義, 進め方のガイダンス	◎本講義では、指示された内容について事前に準備を行う◎担当教員から指摘事項や助言が与えられるので、その内容を参考に研究を実施、改善すること。
2	農学研究科の理念 (1)	教育研究上の目的と教育目標	
3	農学研究科の理念 (2)	アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	
4	バイオセラピー学の理解 (1)	専攻の教育研究上の目的と教育目標	
5	バイオセラピー学の理解 (2)	アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	
6	研究倫理	研究者としての心構え	
7	学位論文のテーマ (1)	これまでの研究成果の評価	
8	学位論文のテーマ (2)	研究の意義、目的、新規性、独自性の評価	
9	学位論文のテーマ (3)	テーマに関するバイオセラピー学的視点の評価	
10	学位論文の構成 (1)	研究テーマに関する具体的課題の設定	
11	学位論文の構成 (2)	課題解決のための論理の評価	
12	研究方法 (1)	研究に必要な手法の確認と評価	
13	研究方法 (2)	研究に必要な手法の習得	
14	研究の実施計画 (1)	研究計画の立案	
15	研究の実施計画 (2)	研究計画の評価	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
適宜、必要に応じて指示する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題等に対する提出物を評価する。

◆オフィスアワー

昼休み（12:30～13:00）

◆その他受講上の注意事項

(オフィスアワー※：)

指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成すること。
